

# くらしのあかり ことばのあかり

～ひと・街・声や本をめぐって～



2019. 1.26 SAT

要事前申込  
先着  
40名様

開場 15:30 開演 16:00  
会場 レストラン ki-ichigo (キイチゴ)  
JR福島駅西口 コラッセふくしま 12階  
入場料 2,000円 (1ドリンク付き)

会場にて本の販売、  
物販もあります。  
お楽しみに!



## 第1部 パネルディスカッション



OPTICAL YABUUCHI  
藪内 義久



Books&Cafe コトウ  
小島 雄次



bel\*fonte  
藤本 菜月

## 第2部 対談



作家  
田口ランディ



発起人・司人  
和合 亮一

ランディさんと  
和合さんの  
サイン会が  
あります!

主催：未来の祀りふくしま実行委員会

後援：福島県 福島市 福島市教育委員会 協力：レストラン Ki-ichigo 岩瀬書店

TEL 024-536-3103

<https://www.mirainomatsuri-fukushima.jp/cafe/>



くらしのあかりか  
ことばのあかりか

ひと・街・声や本をめぐって



Randy Taguchi

田口ランディ

1959年生まれ。作家。社会不適合、精神障害など生きづらさを抱えた登場人物を通して幅広く人間の心の問題をテーマに執筆活動を展開。代表作は「コンセント」「アンテナ」「モザイク」など、著書多数。作品は多言語に翻訳され、海外でも高い評価を受けている。最新作「逆さに吊るされた男」は、地下鉄サリン事件の実行犯、元死刑囚との交流を描いた私小説。また、執筆以外でもアート・ワークショップや、クリエイティブ・ライティングを通して、さまざまな表現の可能性を模索している。2017年に福島を舞台にした「リクと白の王国」がシンガポールで英語翻訳された。本作は来春にキノ・ブックスより文庫化される。



Ryouchi Wago

和合亮一

1968年福島市生まれ。詩人。中原中也賞、晩翠賞など受賞。新聞各紙にてエッセイ、時評などを連載。最新刊は現代詩文庫「和合亮一詩集」「続和合亮一詩集」、詩集「QQQ」など。震災直後にTwitterにて福島の現状を詩の言葉で伝えた。それをまとめた詩集「詩の隣」が昨夏にフランスにて翻訳・出版され、第一回ニュク・レビュー・ポエトリー賞を受賞。フランスでの詩集賞の受賞は日本文壇史上初となり、国内外で大きな話題を集めた。近年はインドネシアや台湾、アメリカにて講演をした。福島県教育復興大使。福島大学広域大使。



Yuji Kojima

小島雄次

1983年、福島県会津美里町（旧会津高田町）生まれ。福島市在住。2002年3月、若松商業高等学校卒業。2002年4月福島県職員（行政事務）。2004年4月、福島大学行政社会学部（夜間主）入学し、2008年3月に卒業。2015年3月、福島県職員退職。福島市に本のある場所を作ろうと2017年4月、Books&Cafeコトウ（福島市宮下町）をオープン。店主自らがセレクトしている絵本、小説、写真集、アートBOOK、福島関連などの本は、販売しているほか、カフェスペースでコーヒーとともに読書も可。本の買い取りも行っている。  
<https://www.facebook.com/BooksCafe-%E3%82%B3%E3%83%88%E3%82%A6-1923775894576768/>



Yoshitisa Yabuuchi

藪内義久

OPTICAL YABUUCHI 代表取締役。1979年、福島市生まれ。日本眼鏡専門学校を卒業後、雑貨店勤務などを経てイギリス留学、英語、プロダクトデザインを学び、ヨーロッパを周遊して福島に再び帰郷。実家である眼鏡店で勤務。眼鏡の販売以外にもオリジナルブランド「COYA（コウヤ）」の開発、デザイン、OPTICAL YABUUCHI ビルの空きテナントをリノベーションし、古いものに新しい価値を与えることも行っている。現在、1FはOPTICAL YABUUCHI（眼鏡店）、2F bloom（お花屋）、2F little bird（レコード店）、3F 食堂ヒト（玄米菓子の食堂）、3F oomachi ギャラリー（ギャラリースペース）、屋上（イベントスペース）となっている。  
<http://www.eye-y.com/>



Natsuki Fujimoto

藤本 菜月

1980年、石川県生まれ。福島市在住。大学卒業後、農林水産省に就職。2006年、結婚を機に夫の故郷福島県に転入。2009年、当時暮らしていた南会津で有志と共に地域資源にちよつとしたデザインを加えた商品開発および販売を行う任意団体「bel\*fonte（ベルフォンテ）」を設立。代表に就任。その後、再び夫の転勤に伴い南会津を離れることになったことから1人で運営することになり、県内外に住む8人の作り手と共に、女性&母親目線を生かして会津木綿や尾瀬の鹿革を使ったピアスやイヤリングなどの商品を企画制作し、道の駅やセレクトショップ、マルシェなどで販売している。また、今年度から「転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクト」（WELCOME ワークショップ・しゃべり場）を展開中。  
<http://bellfonte.info/>

参加お申し込みはホームページまたはお電話でどうぞ！

